

『地域実践研究』投稿要領

発行回数：

年1回（秋：9月末）※

※2024年は別途スケジュールを検討する。

言語：

日本語

掲載形式：

インターネット（無料公開）

掲載料：

3000円（10ページまで）11ページ以降は1ページにつき1000円を加算

投稿区分：

- ・学術実践研究部門：学術的な新規性に主たる関心を示すもの
- ・教育・地域実践研究部門：実践活動の躍動性に主たる関心を示すもの

各部門は、以下の観点により審査を行う。

学術実践研究部門：学術的な新規性に主たる関心を示すもの

- （1）新規性：使用した概念、内容、手法等に独創性があること
- （2）有用性：内容が学術上、実践上何らかの意味で地域・社会の改善に価値があること
- （3）完成度：構成が明確であり、論理の一貫性が保たれていること
- （4）信頼性：論拠とするデータや手法等の信頼性が保たれていること

の観点により審査を行う。

教育・地域実践研究部門：実践活動の躍動性に主たる関心を示すもの

- （1）新規性：使用した概念、内容、手法等に独創性があること
- （2）有用性：内容が人材育成上、実践上何らかの意味で地域・社会の改善に価値があること
- （3）完成度：構成が明確であり、論理の一貫性が保たれていること
- （4）躍動性：生の躍動としての実践の展開に貢献しうるものであること

審査：

- ・投稿された論文は、原則査読者2名による審査を行い、編集委員会の審議を経て掲載可否を決定する。
- ・審議の結果は投稿者に通知され、その際に、著者に原稿内容の訂正、追加・削除を要求することがある。著者は期日までに指摘の事項に関して回答し、加筆修正後の原稿を再提出しなければならない。
- ・審査、審議又は再提出後の審議の後、予め定められた期日までに、投稿者に対し掲載可否の通知を行う。掲載可となった場合は、指定する期日までに、最終的な修正を施した掲載用原稿を提出する

こと。この際の修正は、誤字脱字等の軽微な修正に限られ、データの修正・追加や論旨の変更、新たな説明や記述の追加・変更は認められない。

- ・投稿者は、論文投稿に係る不正行為について十分に注意し、そうした不正行為がないようにしなければならない。そうした行為が発覚した場合には、投稿論文の受理の取り消し、審査の拒否、掲載取り消し等の処分を行うことがあるので、十分に注意すること。

投稿資格：

- ・特に設けない（学生等の応募も可）

投稿方法：

- ① Jxiv（国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が運営する未発表の査読前論文（プレプリント）をオープンアクセスで公開するプレプリントサーバー）に投稿する（随時）。
- ② 氏名、連絡先、論文タイトル、Jxiv に投稿した論文の URL を HP の所定のフォームで連絡し、投稿のエントリーを行う。

論文投稿・審査スケジュール：

- ・投稿エントリー期間：3月1日～3月31日
- ・査読審査：4月20日～6月20日 ※
- ・査読結果通知：7月20日 ※
- ・原稿修正：7月20日～8月20日 ※
- ・最終掲載判断：8月31日 ※
- ・完成原稿：9月20日 ※（誤字脱字のみ）
- ・発行予定：9月末※

※2024年は別途スケジュールを検討する。

原稿作成上の注意：

- ・原稿の作成については、「**テンプレート**」を参照すること。
- ・原稿は指定フォームに従って作成すること。図表等も本文中に配置し、レイアウト編集を行ってページ数等の調整を行うこと。
- ・指定フォーム（Microsoft Word ファイル）は論文集 HP よりダウンロードし使用すること。標題、段落構成、参照文献、その他の原稿作成に係る記載様式（書き方）については、以下のとおりとする。指定フォーム中の指示・注意事項に従い、構成すること。

和文タイトル MS ゴシック、太字 14pt

氏名 MS 明朝 12pt

要旨 和文 300 字以内、MS 明朝 9pt

キーワード 和文、5つ以内、MS 明朝 9pt

原稿末尾に

英文タイトル Times New Roman 12pt、大文字、太字

英文氏名 Times New Roman 12pt

英文要旨 英文 300words 以内、Times New Roman 10pt

本文

基本設定

余白 上下 20mm、左右 20mm

段組 1 段組

1 行の文字数 46 字前後

1 段の行数 40 行前後

フォント 日本語 見出し MS ゴシック、太字 10pt

本文 MS 明朝 10pt

English : Times New Roman 10pt (見出しは bold)

句読点 、。

数字 半角英数

電子フォーマット Microsoft Word (doc, docx)

構成

以下のように、見出し、中見出し、小見出し、の順に段下げを行うこと。

見出し (MS ゴシック 10pt)

1. 中見出し (MS ゴシック 10pt)

(1) 小見出し (MS ゴシック 10pt)

これ以上の階層が必要な場合は、階層区分が明確になるよう留意し記載すること。

「謝辞」等は任意。論旨部分とは区分して記載のこと。

「注」は、記述の先頭に 注 1) の形式で番号をふり、記載する。

「参考文献」は、1)、2) の形式で番号をふり、著者名、発表年、論題、論文名、巻号、ページの順に記載する。